

# 申村設計新聞

## 第六十七号

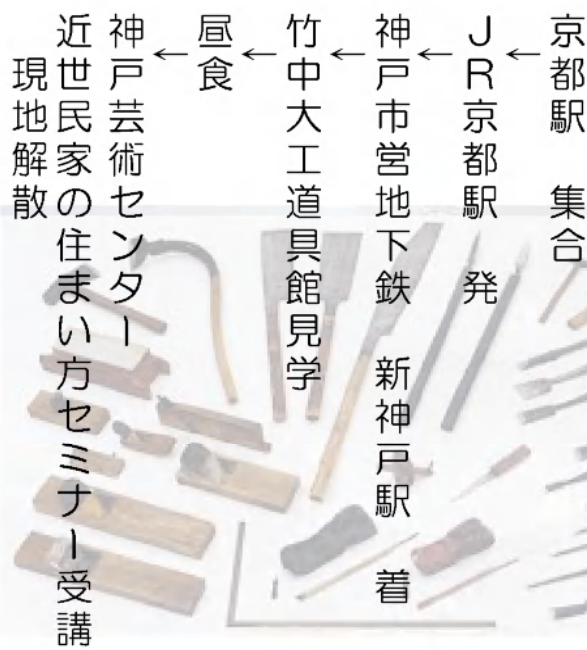
三月十七日(土)晴れ

今月はリニューアルされた竹中大道具館へ行き、ものづくりの歴史や技術を大道具を通じて学びました。

### ○はじめに

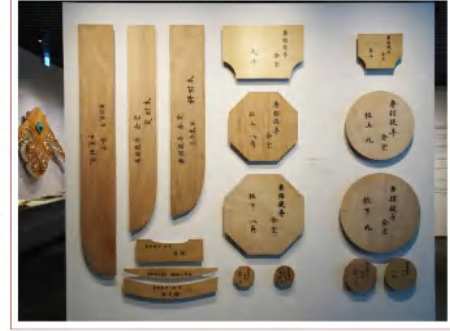
三月の土曜研修は、神戸まで足を運び竹中大道具館を見学し、民家に関するセミナーを受講しました。図面を書くだけでは学べないことを体験出来、有意義な一日でした。

### ○スケジュール



### ○竹中大道具館について

竹中工務店の創立八十五周年を記念して昭和五十九年七月に開館。平成二十六年に開館三十周年を迎え、新神戸駅前に新たにオープン。日本で唯一の大工道具の博物館です。



7つのコーナーに分かれた展示を通して、大工道具を巡る世界の広がりや豊かさを、感じられるようになっていきます。



ただ展示を見るだけではなく、実際に触ったり動かしたりと、様々な体験を通じて学ぶことができます。



### ○レポート

はじめて目にする大工道具が多数あり、どの作業で、どのように使用するのか実演映像で説明があり、また道具類を使って実際に体験できるので、理解度が深まりました。



現代では、コンクリート、鉄、プラスチックが主流となり、時代と共に進歩してきてはいると思いますが、この流れをそのままにしてよいのかどうか自分自身もう一度考えてみる必要があると感じました。

竹中大道具館は、職人の思いや技術を見て触れることができるので、日本人の技と工夫の歴史を目の当たりにすることができる場所だと思えました。

中村友紀



### ○近世民家の住まい方セミナー

江戸時代の民家の住まい方と、それが建物に及ぼした影響を学びました。土間と居間の仕切に小さな穴が付けられていて、それは鼠退治の為に飼っていた猫の出入口だそうです。

また、薪を燃やす部屋では天井を張れない為、ダイナミックな小屋組みをデザインの見せ場にしていました。他にも、民家を見る際に建築的な痕跡から生活を紐解く知識が学べ、とても勉強になりました。

←実物大組物模型前で集合写真



### ○まとめ

今回が2度目の見学となった所員もいましたが、何度訪れても新たな発見があったそうです。大工道具と日本建築の素晴らしさ、奥深さを体感できるよい機会になりました。

### ○クイズ

大工道具の「三種の神器」でないものは次の内どれでしょうか。

- ① さしがね
- ② のこぎり
- ③ 墨壺
- ④ ちょうな